

# 〔県民局だより〕 第14回全国草地畜産コンクール

～農林水産省生産局長賞受賞 真庭市蒜山 長恒 充氏～

美作県民局 畜産第2班

平成22年7月15日、東京千代田区神田(社)日本草地種子畜産協会会議室で第14回全国草地畜産コンクール表彰式が開催され、真庭市蒜山長恒充氏が農林水産省生産局長賞を受賞されました。

中山間地の条件不利地域で約26haの草地を適正に管理し、地域資源である水田や離農した酪農家の草地を積極的に借入れ、農地の荒廃を防ぎ、農地保全・環境保全に大きく寄与している取組が評価されたものです。



表彰式（前列右から2人目が長恒氏）

・中生」と3種類を作付。収穫時期の分散化を図り、適期（出穂期）に収穫出来る体制を確立しています。

条件の悪い（傾斜地・水はけの悪いほ場等）ほ場には、リト<sup>®</sup>カリーグラスを作付けしており、効率的な自給飼料生産に励んでいます。

また、長恒氏含めた3農家共同で収穫調製作業（約80ha）を行うことにより、作業労力、作業機械のコスト低減に努めるとともに、定期的に毎年3～5haの草地更新を行い、生産性の向上を図っています。



## 【経営面積等】

成牛	育成牛	子牛	合計	
42頭	22頭	8頭	72頭	
区分	面積	内借地	作付面積	備考
水田	11.3ha	10.3ha	11ha	フェシ-23ha
牧草地	15ha	13ha	15ha	リト <sup>®</sup> 3ha
計	26.3ha	23.3ha	26ha	

## 【草地管理】

粗飼料は自ら確保することを信念に「当該地域の有効資源」である市所有大規模草地や耕種農家の水田、また離農した農家の草地を借入れ、現在約26ha程度の自給飼料の作付しています。

その内、約23haがフェシ-で「極早生・早生

## 【自給粗飼料利用】

年間を通じてフェシ-の1番草フェシ-を搾乳牛へ給与、2番草は県内酪農家へ販売、3番草及びリト<sup>®</sup>カリーグラスは育成牛に給与しており、効率的な自給粗飼料給与を行っています。

岡山畜産便り 2010.08

**【生産技術・収益性】**

(H20 年次)

生 産 技 術	
経産牛1頭当乳量	11,814 kg
飼料自給率(TDN換算)	40%
粗飼料自給率(TDN換算)	84%
収 益 性	
所得率	22.2%
自給飼料生産コスト (TDN1kg当たり)	39.5円

蒜山地域のリーダー的存在である長恒氏の今後の活躍が期待されます。

**【今後の目標等】**

長恒氏曰く「現在の飼養頭数を維持しながら、堆肥を活用した品質の高い自給飼料を増やして生産コストを下げると共に、乳質を高める牛群改良を行ういたい。」とのこと。